

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	令和3年度第2回河内長野市行財政評価委員会
2 開催日時	令和4年3月9日(水)～3月25日(金) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面で開催
3 開催場所	—
4 会議の概要	以下の案件について、書面にて会議を行った。 (1) 令和2年度まち・ひと・しごと創生寄附活用事業 (映画を活用したシティプロモーション事業)の評価について (2) 令和2年度地方創生推進交付金事業 (「丘の生活拠点」(南花台)まちづくりモデル事業)の評価について
5 公開・非公開の別 (理由)	—
6 傍聴人数	—
7 問い合わせ先	(担当課名) 総合政策部 政策企画課 行政経営係 (内線341)
8 その他	

*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

令和3年度第2回河内長野市行財政評価委員会・会議結果

※令和3年度第2回河内長野市行財政評価委員会については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、書面での開催とした。

1. 案件

- (1) 令和2年度まち・ひと・しごと創生寄附活用事業
(映画を活用したシティプロモーション事業)の評価について
- (2) 令和2年度地方創生推進交付金事業
(「丘の生活拠点」(南花台)まちづくりモデル事業)の評価について

2. 書面開催の流れ

- (1) 資料の確認・質疑応答
【期 間】3/9(水)～3/11(金)
【内 容】案件に係る資料について、各委員が内容を確認した。
- (2) 施策・事業の評価
【期 間】3/14(月)～3/22(火)
【内 容】案件に係る資料に基づき、各委員が書面で評価を行った。
- (3) 会議結果の報告
【期 間】3/23(水)～3/25(金)
【内 容】各委員の評価結果を取りまとめた会議結果を各委員に報告し、市ホームページに掲載した。

3. 会議結果

案件(1) 令和2年度まち・ひと・しごと創生寄附活用事業
(映画を活用したシティプロモーション事業)の評価について
別紙「令和2年度まち・ひと・しごと創生寄附活用事業評価・外部評価結果について」のとおり、委員会の評価を決定する。

案件(2) 令和2年度地方創生推進交付金事業
(「丘の生活拠点」(南花台)まちづくりモデル事業)の評価について
別紙「令和2年度地方創生推進交付金事業評価・外部評価結果について」のとおり、委員会の評価を決定する。

令和2年度まち・ひと・しごと創生寄附活用事業評価・外部評価結果について

1. 外部評価の目的

市で実施した内部評価の妥当性を、専門的な見地や市民の目線から検証することで、客観性を確保するとともに、必要に応じて総合戦略の見直しや次年度の取組み内容への反映を行う。

2. 評価対象及び実施方法

令和2年度に実施したまち・ひと・しごと創生寄附活用事業「映画を活用したシティプロモーション事業」について、市で実施した内部評価に対し、河内長野市行財政評価委員会が書面にて評価を行った。

3. 評価方法

市内部で行った評価資料に基づき、事業の目標及び数値目標（KPI）を達成するために評価年度に実施した要素事業が効果的であったかとの観点で検証を行い、「**妥当**」、「**概ね妥当**」、「**要検討**」のいずれかに分類する。

4. 評価結果

別紙「令和2年度まち・ひと・しごと創生寄附活用事業評価・外部評価結果」のとおり

令和2年度まち・ひと・しごと創生寄附活用事業評価・外部評価結果

■事業の概要

事業名称	河内長野市まち・ひと・しごと創生寄附活用事業
要素事業	映画を活用したシティプロモーション事業
事業の目標・概要	<p>劇場用長編映画「鬼ガール!!」が民間主導により製作が進められていることから、市としてもこの機会を逃すことなく連携してシティプロモーションを行い、本市への愛着や誇りを醸成することにより、市民の定住促進及び域内消費の拡大を図る。</p> <p>また、同映画の広告宣伝にあわせて、市外からの本市の認知度向上やイメージアップを図ることにより、移住促進及び観光客の誘致につなげる。</p>
令和2年度実施事業内容	<p>映画「鬼ガール!!」と連動して、市条例「河内長野市鬼でまちおこし条例」を制定し、市を挙げたシティプロモーションを実施するとともに、映画のプロモーション等の機会も活用してイベント、メディア展開を実施しました。実施事項は以下のとおり。</p> <p>(1) 本市のPR ①市条例「河内長野市鬼でまちおこし条例」の制定 ②イベント等によるPR ③メディア等を利用したPR ④WEB等でのPR ⑤その他</p> <p>(2) (1)に付随して必要となる物品の作成 上記において必要となるチラシ・パンフレット・コンテンツ等の作成しました。</p> <p>※上記は、主に「奥河内ムービー・プロジェクト実行委員会」への委託により実施しました。 ※企業版ふるさと納税のみを財源とし、市の一般財源からは一切支出しないという本事業の性質上、実施内容については寄附者と十分に調整し、寄附者の意向を最大限反映したうえで、かつ市として最大限の効果が得られる内容を検討し、実施しました。</p>

■市評価結果

評価区分(※1)	評価内容
③効果があった	<p>民間予算で実施されている映画制作と連動し、かつ全財源を企業版ふるさと納税による歳入により賄ったことにより、市の一般財源から一切支出せずとも映画出演者やスタッフの協力を得ることができ、かつ映画の劇場公開との相乗効果を最大限発揮できる事業内容とできたことで、市関連事業としてはかつてないほどの拡散力を持った市のPRとなった。</p> <p>特に、条例制定や映画公開記念イベントとの連携はメディア等からの注目も高く、NHKをはじめとするメディアでも特集され、河内長野市や「奥河内」の名称、市内のスポットなどが再三公共の電波で放送され、市内はもちろん、市外の多くの方々にも届く発信となった。</p> <p>さらに、これらの動きにより市内事業者等でも映画と連携して地域を活性化しようという機運が醸成され、映画と関連したメニュー、商品の開発や企画が行われるなど、民間の自主的な地域活性化の取り組みを喚起することにも繋がるなど、非常に大きな効果を得た。</p> <p>一方で、これらの動きがKPIの達成に直接的に寄与するには至っていないため、左記の評価とした。</p>

※1：評価事業の目標・KPI達成に「①非常に効果的であった」、「②相当程度効果があった」、「③効果があった」、「④効果がなかった」

■委員会評価

評価区分(※2)	意見・コメント
概ね妥当	<p>○行政自らの評価が妥当と思う。むしろ、今回の映画を出発点として、ハード、ソフト、ヒューマンにわたる立体的な戦略を構築して欲しい。</p> <p>○設定されたKPIは現在河内長野市に居住する市民の意識に関するものであり、一方、今回の、映画を活用したシティプロモーション事業は多くが他市の居住者による市に関する認知をはかる等、市外での影響が大きい性質を有する。そのため、KPIで数値の増加がないのは奇妙なことではない。事業の概要では、丁寧な思考にもとづき非常に多様な取組の展開につなげられており、またその成果も、参考指標を見るに、十分なものがあつたことを適切にアピールできている。今後は、当該事業を行なううえで、市内のさまざまな事業者や諸団体が協働されたのであり、こうした協働から生まれた関係者間の関係性をどう評価し、それを(映画に限らず)広くどう活かしていけるのかを検討すべきと思う。</p>
評価内訳	
①妥当 2	
②概ね妥当 3	
③要検討 0	<p>○各種の媒体に河内長野市の風景やものが登場することは、今日、市のPRに非常に効果があるが、課題として捉えられている通り、関心を維持できるかどうか重要である。この事業に関してはある程度の効果があつたと思えるが、今後、地道な活動も必要だろう。</p> <p>○市の知名度UPには貢献したと思われるが、市民からの愛着度を増すことまでは、賛同を得ることが出来なかったのではないかと。</p> <p>○河内長野市をPRし、市民への注目を集めることができた。今後、継続事業として、いろんな市のPRが期待できる。</p>

※2：取組事業が事業の目標・KPI達成するために、「①妥当である」、「②概ね妥当である」、「③検討を要する」

令和2年度地方創生推進交付金事業評価・外部評価結果について

1. 外部評価の目的

市で実施した内部評価の妥当性を、専門的な見地や市民の目線から検証することで、客観性を確保するとともに、必要に応じて総合戦略の見直しや次年度の取組み内容への反映を行う。

2. 評価対象及び実施方法

令和2年度に実施した地方創生推進交付金事業「「丘の生活拠点」(南花台)まちづくりモデル事業」について、市で実施した内部評価に対し、河内長野市行財政評価委員会が書面にて評価を行った。

3. 評価方法

市内部で行った評価資料に基づき、事業の目標及び数値目標(KPI)を達成するために評価年度に実施した要素事業が効果的であったかとの観点で検証を行い、「**妥当**」、「**概ね妥当**」、「**要検討**」のいずれかに分類する。

4. 評価結果

別紙「令和2年度地方創生推進交付金事業評価・外部評価結果」のとおり

令和2年度地方創生推進交付金事業評価・外部評価結果

■事業の概要

事業名称	「丘の生活拠点」(南花台)まちづくりモデル事業
要素事業	「丘の生活拠点」(南花台)まちづくりモデル事業
事業の目標	<p>人口減少・少子高齢化が急激に進む開発団地が連なる市南部の南花台を「丘の生活拠点」に位置付け、「地域住民が住み慣れた場所で多世代と交流しながら、生きがいを持ち、元気に暮らし続けることができるまちづくり」をコンセプトに『咲く南花台プロジェクト』を推進している。</p> <p>地域活動拠点「コノミヤテラス」を中心に、買物応援や生活応援をはじめ、健康づくり、子育て支援、情報発信、南花台事業者の会の立ち上げなど、地域住民主体による地域課題解決につながる取り組みを通じて、現在では多くの地域住民が多様な形でまちづくりに参画し、関西大学に加え他大学の参画も進んでいる。地域のスーパーコノミヤとの連携も年を追うごとに深まり、公民学による信頼関係の高まりにより地域の合意形成が図りやすくなるとともに、まちづくりの機運が非常に高まっている。</p> <p>「咲く南花台プロジェクト」をさらに推進し、自動運転による移動サービスを始め、新たな技術の導入による生活利便性の向上を図りながら、地域の公園やUR団地集約用地等の既存ストックを有効活用し、地域の魅力創出・活性化を図り、「暮らし続けられるまち」を形成しながら、高齢化に伴い自治会や地区福祉委員会など地域活動の担い手不足が課題となっているなかで、新たな担い手を発掘し、地域住民と事業者が連携した持続可能なまちづくりのモデルを構築する。</p>
全体の概要	<p>地域活動拠点「コノミヤテラス」を中心とした社会実験的活動の企画・実施及び活動の一環として、自動運転等未来技術を活用した地域の生活に機能する移動支援の構築を図る。また、UR集約型団地再生事業に係る多世代が交流できる公園(サッカースタジアムを含む)を整備することにより、地域住民の憩いの場や子どもの遊び場の創出、スポーツを通じた魅力あるまちづくりのモデルを構築する。あわせて、これらの事業について他の地域へ横展開を図り、河内長野市全体の地域活性化を生活利便性の向上につなげる。</p>
令和2年度実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・提案事業総合企画調整 ・「総合研究会」など各プロジェクト会議の運営 ・地域活動拠点「コノミヤテラス」の運営及び自立化の推進 ・南花台モビリティ「クルクル」の取り組み推進 ・「咲く南花台プロジェクト横展開」としてイズミヤ河内長野店における地域活動拠点整備の実施 ・南花台モビリティ「クルクル」自動運転実証事業運行体制整備(ルート選定、電磁誘導線の敷設等) ・UR集約事業の推進(UR団地集約跡地における公園基本計画策定を含む) ・「コノテラ通信」発行など地域による情報発信

■市評価結果

評価区分(※1)	評価内容
①非常に効果的であった	<p>令和元年度に開始した「南花台モビリティ クルクル」について、年度当初はコロナ禍で休止したが、その間も運営スタッフと協議を進め、感染症対策を徹底した上で、10月より運行を再開し、移動支援としての効果を発揮できた。</p> <p>また、府スマートシティ戦略構想の代表モデルとして、自動運転の実証事業にかかるルート選定や電磁誘導線の敷設など、運営体制の構築を実施した。</p> <p>さらに、これまでの取り組みの広がりを受けて、スーパーシティ構想への申請も実施し、他自治体やNPO団体等からの視察も増加している。</p> <p>一方で、UR集約跡地において、公園整備を検討する中、アンケートを実施し基本計画を策定するなど、地域内の合意形成を図っている。</p>

※1：評価事業の目標・KPI達成に「①非常に効果的であった」、「②相当程度効果があった」、「③効果があった」、「④効果がなかった」

■委員会評価

評価区分(※2)	意見・コメント
妥当	<p>○南花台の事業がモデルとして他のコミュニティに波及していくようにする為、分析、評価、一般施策へつなぐ提案が、次には求められる。</p> <p>○基本的には、活発な活動が行われ、また、メディア等を見る限り、一定の注目を集め、順調な進捗を見せている。ただし、以下のような懸念がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「横展開」とあるが、南花台の事業から得られた教訓は何で、それらをどう活かして他地域における取組を行なっているのか、説明する記載がない。また、「横展開」で挙げられている取組リストを見ても、どのような基本コンセプトでこれらの事業が考え出されたのか、にわかには分からなかった。 ・公園整備は、建築家によるランドスケープデザインから住民参加にもとづくパークマネジメントへと思考方法が転換しているが、当該公園の整備プロセスにおける住民参加のための取組概要やその特徴について、貴市として一定の認識を持ったうえで、それを説明・記載し、そのうえで自己・第三者評価をするとよいのではないだろうか。
評価内訳	
①妥当 3	
②概ね妥当 2	
③要検討 0	<p>○スマートシティ構想は、解るが大きなPRのわりに、クルクルが市民生活に活用されていないように思える。今後の活用方法に期待したい。</p>

※2：取組事業が事業の目標・KPI達成するために、「①妥当である」、「②概ね妥当である」、「③検討を要する」